

化学物質のこねさ

化学物質には、便利な性質がありますが、使い方をまちがえたり、きちんと処理しないで環境中に捨てたりすると、人間や動植物に悪い影響をあたえてしまうことがあります。

悪い影響の例

自動車の排出ガス

健康に影響をあたえる可能性が高い有害な化学物質がふくまれています。



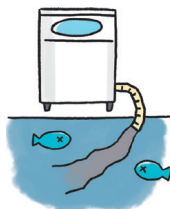
殺虫剤

部屋の中で使ったあと空気を入れかえないと、頭が痛くなることがあります。



洗剤など

そのまま川に流すと、生き物に悪い影響をあたえてしまうことがあります。



塗料

塗料にはにおいがあり、長い時間そのまま吸い続けると、気分が悪くなることがあります。



化学物質との上手なつきあい方

化学物質は、便利な性質だけでなく、有害な性質も持っているのです、上手に付き合うことが大切です。

上手な付き合い方の例

乗り物を利用するとき

自動車の排出ガスの量を少なくするため、自家用車の代わりに、たくさんの方が一緒に乗れる電車・バスなどの公共の乗り物や自転車を利用しましょう。急発進・急加速をしないことや、ハイブリッド車や電気自動車などの低公害車に乗ることも効果があります。



殺虫剤を使うとき

使いすぎに注意して、使った後は室内の空気を入れかえましょう。害虫が発生する場所をつくらないように、こまめにそうじをすることも大切です。



洗剤を使うとき

洗濯物の量や汚れの程度に合った正しい量の洗剤を使いましょう。



塗料を使うとき

室内で使うときには、窓を開けたり、換気扇を回して空気の入れかえをしましょう。

